



なかしん

中小企業景況レポート

No.39 中栄信用金庫 地域支援部

2021年4月～6月実績と2021年7月～9月見込み

◆調査概要

調査時期 2021年6月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 340社
回答企業数 326社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	94	91	96.8
卸売業	30	30	100.0
小売・飲食業	65	63	96.9
サービス業	53	47	88.6
建設業	63	60	95.2
不動産業	35	35	100.0
合 計	340	326	95.8

◆4月～6月期の概況

～景況感は4期連続改善となるも、先行きの不透明感を拭えず～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は ▲20.3 を示し、前回調査（2021年1～3月期）に比べ 1.7 ポイントの小幅改善となりました。

まん延防止等重点措置に伴う営業時間の短縮や酒類の提供停止等の影響により飲食店を中心に厳しい経営環境が続くものの、卸売業では内食需要による食品卸が増加したほか、製造業においてはコロナ禍で低迷した前年からの反動増もあり、景況感は小幅ながらも4期連続の改善となっております。しかしながら、建設業や製造業を中心に材料不足による価格高騰から事業活動への影響を懸念し、景況感は悪化の予想となっております。

さらに特別調査では、約4割の企業が例年に比べ売上減少となるほか、感染症や災害等による事業継続について約半数の企業が不安を感じていると回答する中、補助金等の支援策を活用し、新分野展開、事業転換等の事業再構築を検討する動きもみられます。

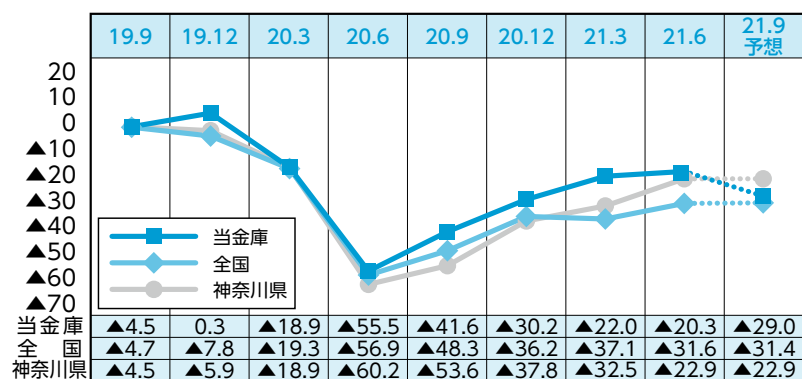
項目別にみると、売上額実績 D.I. は 17.6 ポイント改善の ▲6.4、収益実績 D.I. は 17.0 ポイント改善の ▲7.1 となっております。また、仕入価格 D.I. は 15.2 ポイント上昇の 32.8、人手過不足 D.I. は 5.0 ポイント不足感が弱まり ▲15.4、資金繰り D.I. は 5.8 ポイント改善の ▲4.6 となっております。また業種別の景況感は、卸売業が 31.4 ポイント改善の ▲10.0、不動産業が 23.7 ポイント改善の ▲2.8、製造業が 2.4 ポイント小幅改善の ▲7.8、サービス業が 2.3 ポイント小幅改善の ▲36.2、建設業が 4.9 ポイント悪化の ▲10.0、小売・飲食業が 21.7 ポイント悪化の ▲50.8 となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は 5.5 ポイント改善の ▲31.6、神奈川県内については 9.6 ポイント改善の ▲22.9 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆7月～9月期の見通し

来期の業況判断予想は、8.7 ポイント悪化の ▲29.0、売上額 D.I. は 5.6 ポイント悪化の ▲12.0、収益 D.I. は 7.4 ポイント悪化の ▲14.5 の予想となっております。

業況判断 D.I. 値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000（うち神奈川県 約 480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い ← → 悪い

製造業

概況

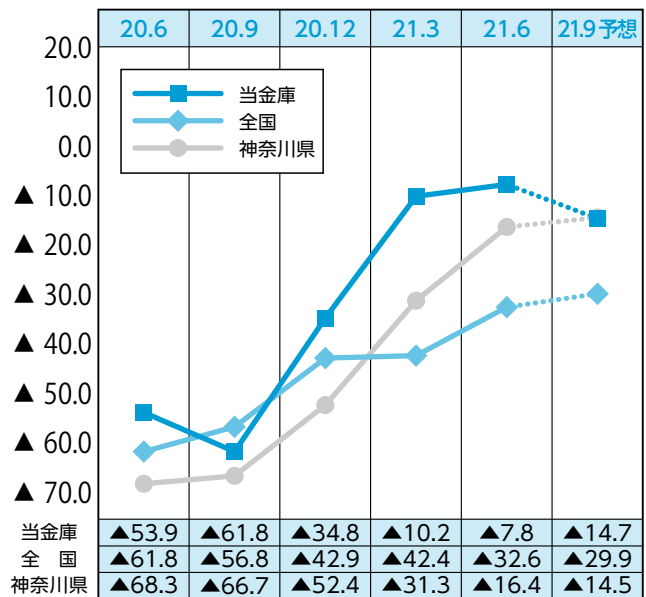
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.4 ポイント小幅改善の▲7.8 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 3.4 ポイント悪化の 0.0、収益 D.I. は 11.2 ポイント改善の 5.5 となっております。

5G 関連の受注増加やコロナ禍で低迷した前年からの反動増により、景況感は小幅ながらも 3 期連続の改善となったものの、材料不足やサプライチェーンの毀損による取引先の減産等を懸念し、景況感の予想は悪化しております。また、原材料価格 D.I. は 18.8 ポイント上昇の 46.1 となっており、今後も材料不足ならびに価格の高騰が懸念されることから、一部の企業では仕入先の見直しを行う動きがみられます。

なお、全国は 9.8 ポイント改善の▲32.6 となっており、神奈川県は 14.9 ポイント改善の▲16.4 となっております。

来期の予想業況判断については、6.9 ポイント悪化の▲14.7 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	39.7	24.0	36.3	D.I. 3.4
当期実績	35.1	29.8	35.1	0.0
来期予想	25.5	42.3	32.2	▲6.7
前年同期比	42.2	30.1	27.7	14.5

販売価格

前期実績	+5.6	84.2	10.2	D.I. ▲4.6
当期実績	+7.6	83.7	8.7	▲1.1
来期予想	+7.7	81.2	11.1	▲3.4

在庫

前期実績	12.5	77.3	10.2	D.I. 2.3
当期実績	+7.6	84.8	7.6	0.0
来期予想	+7.7	85.7	6.6	1.1

人手

前期実績	+10.2	61.4	28.4	D.I. ▲18.2
当期実績	13.1	69.4	17.5	▲4.4
来期予想	13.3	72.3	14.4	▲1.1

収益

前期実績	32.9	28.5	38.6	D.I. ▲5.7
当期実績	35.1	35.3	29.6	5.5
来期予想	23.3	43.4	33.3	▲10.0
前年同期比	44.4	27.9	27.7	16.7

原材料価格

前期実績	29.5	68.3	2.2	D.I. 27.3
当期実績	46.1	53.9		46.1
来期予想	41.1	57.8	1.1	40.0

資金繰り

前期実績	18.1	58.1	23.8	D.I. ▲5.7
当期実績	13.1	68.3	18.6	▲5.5
来期予想	+10.0	70.0	20.0	▲10.0

設備状況

前期実績	+3.4	80.4	16.2	D.I. ▲12.8
当期実績	+7.6	76.0	16.4	▲8.8
来期予想	+6.6	75.7	17.7	▲11.1

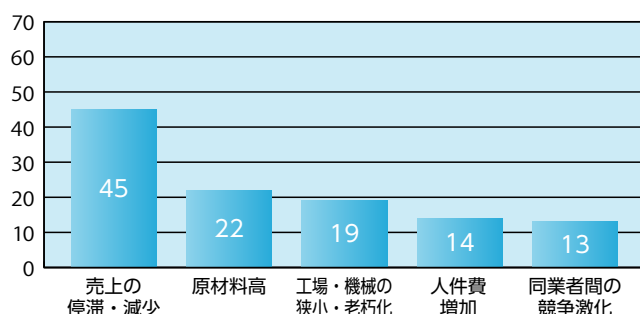
当期実績…2021 年 4～6 月期
来期予想…2021 年 7～9 月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

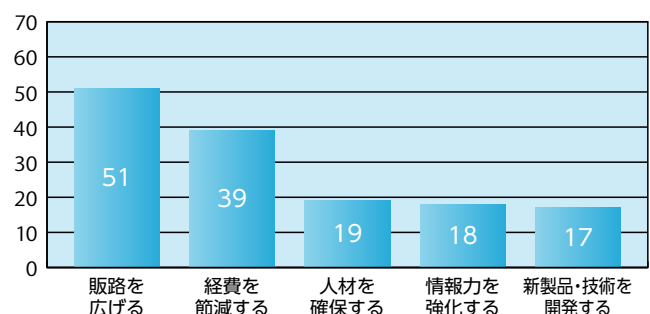
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸 売 業

概 況

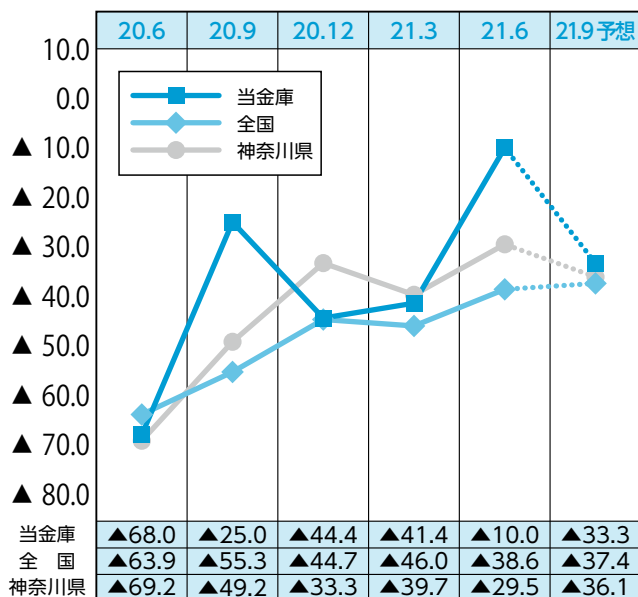
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 31.4 ポイント改善の▲10.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 41.1 ポイント大幅改善の 6.6、収益 D.I. は 27.7 ポイント改善の▲3.4 となっております。

これは、コロナ禍における内食需要によりスーパー等への食品卸が増加しているほか、建材卸では建築資材の需要が高まったため、売上額・収益 D.I. は改善し、景況感も 2 期連続の改善となっております。しかしながら、世界的な木材需要の増加による仕入価格の高騰から仕入価格 D.I. は 36.5 ポイント上昇の 40.0 となり、建材卸では価格転嫁に向け、販売先との価格交渉を行う動きがみられます。

なお、全国は 7.4 ポイント改善の▲38.6 となっており、神奈川県は 10.2 ポイント改善の▲29.5 となっております。

来期の予想業況判断については、23.3 ポイント悪化の▲33.3 となっております。

業況判断 D.I. 値



売 上 額

前期実績	17.2	31.1	51.7	D.I. ▲34.5
当期実績	36.6	33.4	30.0	6.6
来期予想	16.6	60.1	23.3	▲6.7
前年同期比	46.6	23.4	30.0	16.6

販 売 価 格

前期実績	+3.5	89.4	7.1	D.I. ▲3.6
当期実績	13.3	73.4	13.3	0.0
来期予想	13.3	80.1	6.6	6.7

在 庫

前期実績	-10.7	82.2	7.1	D.I. 3.6
当期実績	16.6	80.1	3.3	13.3
来期予想	13.3	83.4	3.3	10.0

人 手

前期実績	64.3	35.7	D.I. ▲35.7
当期実績	+ 3.4	69.1	27.5 ▲24.1
来期予想	73.4	26.6	▲26.6

収 益

前期実績	13.7	41.5	44.8	D.I. ▲31.1
当期実績	26.6	43.4	30.0	▲3.4
来期予想	-10.0	66.7	23.3	▲13.3
前年同期比	40.0	26.7	33.3	6.7

仕 入 価 格

前期実績	14.2	75.1	10.7	D.I. 3.5
当期実績	40.0	60.0		40.0
来期予想	30.0	66.7	3.3	26.7

資 金 繰 り

前期実績	20.6	62.2	17.2	D.I. 3.4
当期実績	13.3	66.7	20.0	▲6.7
来期予想	-10.0	70.0	20.0	▲10.0

設 備 状 況

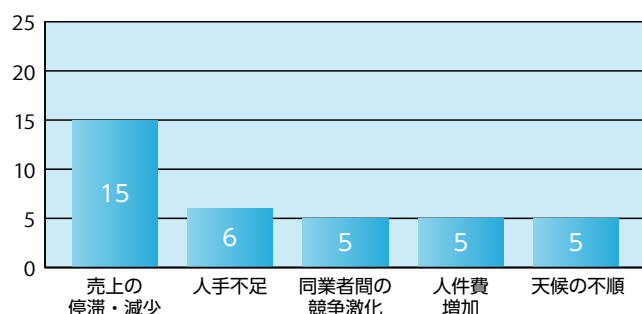
前期実績	+7.4	81.5	11.1	D.I. ▲3.7
当期実績	+3.3	80.1	16.6	▲13.3
来期予想	-10.0	73.4	16.6	▲6.6

当期実績…2021 年 4～ 6 月期
来期予想…2021 年 7～ 9 月期

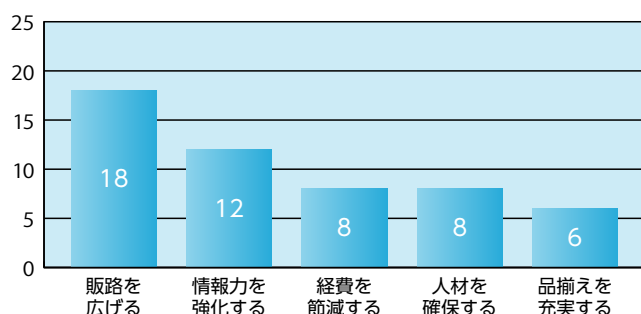
□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

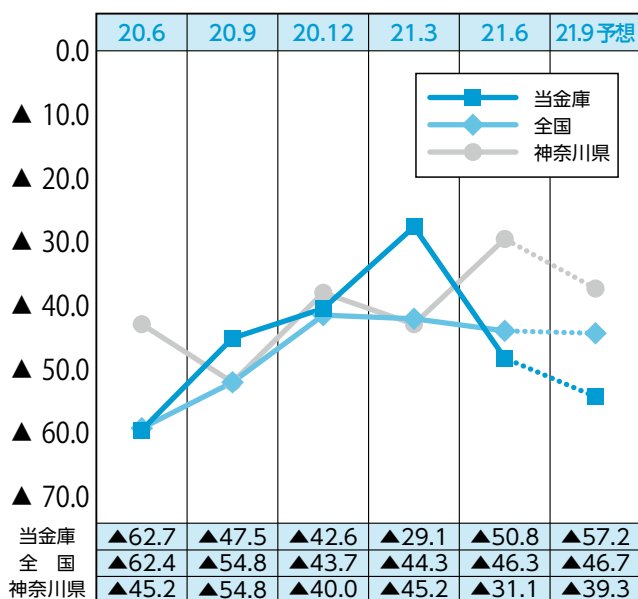
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 21.7 ポイント悪化の▲50.8 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 27.7 ポイント改善の▲15.8、収益 D.I. は 27.7 ポイント改善の▲19.0 となっております。

まん延防止等重点措置に伴う営業時間の短縮、酒類の提供停止により飲食店を中心に外出自粛の動きを懸念し、経営上の問題点として、約 6 割の企業が売上の停滞・減少を挙げており、協力金等に頼らざるを得ない状況が続いていることから、景況感は悪化となっております。また一部では、自治体の需要喚起策や巣ごもり需要の取り込みがみられるものの、外出自粛長期化への懸念からテイクアウト商品の拡充に加え、仕入先の見直しや経費削減による収益確保に努める様子が見受けられます。

なお、全国は 2.0 ポイント小幅悪化の▲46.3 となっており、神奈川県は 14.1 ポイント改善の▲31.1 となっております。

来期の予想業況判断については、6.4 ポイント悪化の▲57.2 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	16.1	24.3	59.6	D.I. ▲43.5
当期実績	23.8	36.6	39.6	▲15.8
来期予想	12.6	46.2	41.2	▲28.6
前年同期比	31.7	30.3	38.0	▲6.3

販売価格

前期実績	+3.2	87.2	9.6	D.I. ▲6.4
当期実績	+14.2	76.3	9.5	4.7
来期予想	+6.3	77.9	15.8	▲9.5

在庫

前期実績	14.7	77.2	8.1	D.I. 6.6
当期実績	+7.9	89.0	3.1	4.8
来期予想	+4.7	92.2	3.1	1.6

人手

前期実績	11.2	64.7	24.1	D.I. ▲12.9
当期実績	12.6	63.6	23.8	▲11.2
来期予想	11.1	65.1	23.8	▲12.7

収益

前期実績	14.5	24.3	61.2	D.I. ▲46.7
当期実績	20.6	39.8	39.6	▲19.0
来期予想	12.6	47.8	39.6	▲27.0
前年同期比	33.3	30.2	36.5	▲3.2

仕入価格

前期実績	16.1	75.9	8.0	D.I. 8.1
当期実績	17.4	77.9	4.7	12.7
来期予想	19.0	69.9	11.1	7.9

資金繰り

前期実績	+6.4	67.8	25.8	D.I. ▲19.4
当期実績	12.6	70.0	17.4	▲4.8
来期予想	+7.9	68.3	23.8	▲15.9

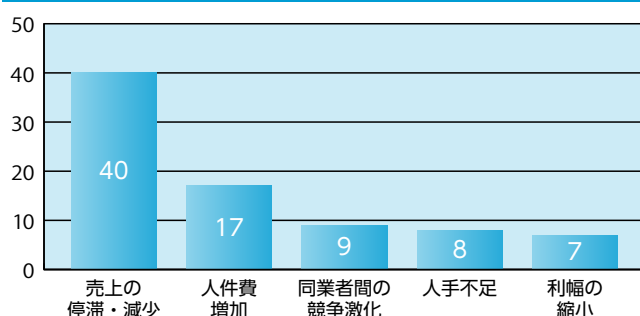
設備状況

前期実績	+4.9	85.3	9.8	D.I. ▲4.9
当期実績		88.9	11.1	▲11.1
来期予想		88.9	11.1	▲11.1

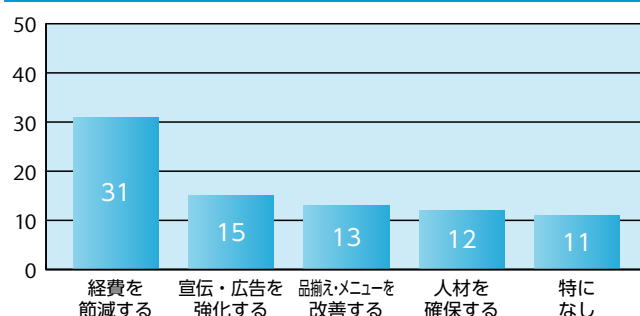
当期実績…2021 年 4～6 月期
来期予想…2021 年 7～9 月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

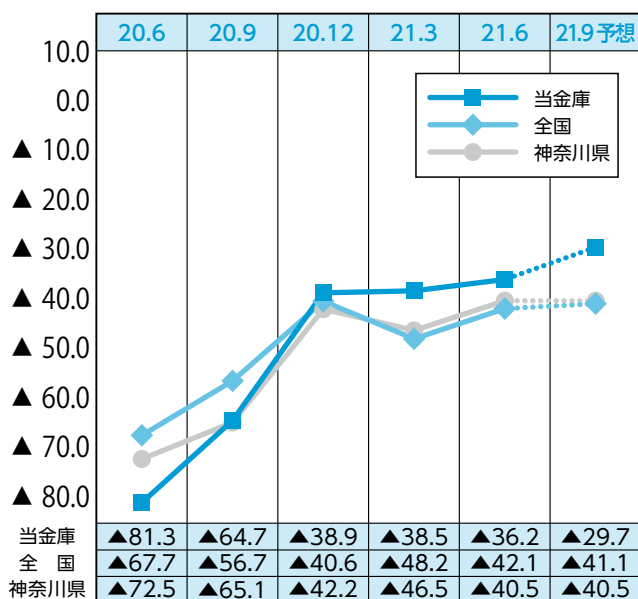
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.3 ポイント小幅改善の▲36.2 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 38.0 ポイント改善の▲4.3、収益 D.I. は 34.7 ポイント改善の 0.0 となっております。

まん延防止等重点措置の影響に伴う旅館業での宿泊キャンセルのほか、通所介護事業所では高齢者の利用頻度の減少から、景況感はマイナス域で推移しております。一方、訪問介護事業での利用者の増加や理美容業での客足の回復により、売上額・収益 D.I. は改善に至ったものと見受けられます。また、一部の企業ではアフターコロナ、with コロナに適應すべく、補助金を活用した新たな事業展開を検討する動きがみられます。

なお、全国は 6.1 ポイント改善の▲42.1 となっており、神奈川県は 6.0 ポイント改善の▲40.5 となっております。

来期の予想業況判断については、6.5 ポイント改善の▲29.7 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	13.4	30.9	55.7	D.I. ▲42.3
当期実績	29.7	36.3	34.0	▲4.3
来期予想	25.5	53.3	21.2	4.3
前年同期比	41.3	24.0	34.7	6.6

料金価格

前期実績	1.9	94.3	3.8	D.I. ▲1.9
当期実績	8.5	78.8	12.7	▲4.2
来期予想	8.5	83.0	8.5	0.0

資金繰り

前期実績	3.8	65.5	30.7	D.I. ▲26.9
当期実績	10.6	63.9	25.5	▲14.9
来期予想	10.6	66.0	23.4	▲12.8

設備状況

前期実績	5.7	67.4	26.9	D.I. ▲21.2
当期実績	2.1	68.2	29.7	▲27.6
来期予想	2.1	68.2	29.7	▲27.6

当期実績…2021年 4～ 6月期
来期予想…2021年 7～ 9月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

収益

前期実績	15.3	34.7	50.0	D.I. ▲34.7
当期実績	25.5	49.0	25.5	0.0
来期予想	23.4	57.5	19.1	4.3
前年同期比	43.4	21.9	34.7	8.7

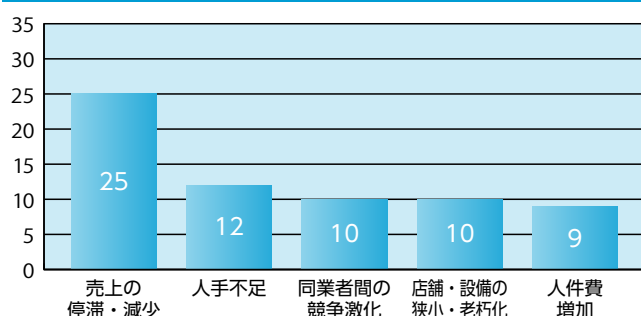
材料価格

前期実績	15.3	82.8	1.9	D.I. 13.4
当期実績	19.1	80.9		19.1
来期予想	15.2	82.7	2.1	13.1

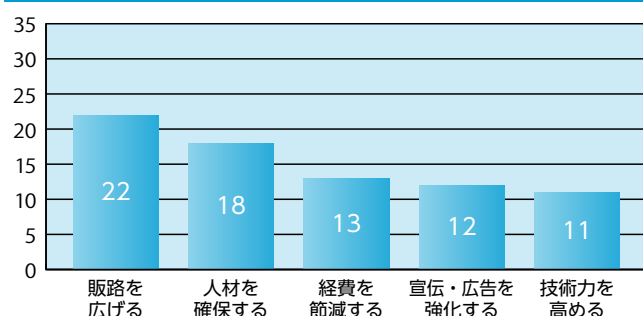
人手

前期実績	9.6	55.8	34.6	D.I. ▲25.0
当期実績	10.6	55.4	34.0	▲23.4
来期予想	4.2	63.9	31.9	▲27.7

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

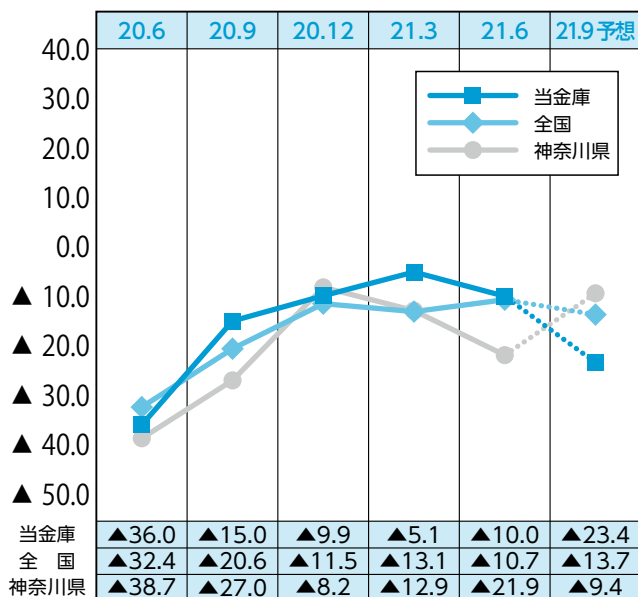
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 4.9 ポイント悪化の▲10.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 4.8 ポイント悪化の▲18.3、収益 D.I. は 9.9 ポイント悪化の▲23.4 となっております。

リフォームを中心とした住宅関連が一部持ち直しを見せたものの、世界的な木材需要の高まりにより材料価格 D.I. は 17.8 ポイント上昇の 48.3 となるほか、木材不足に伴う工期の遅れや仕入価格の高騰による収益への影響を懸念し、景況感は悪化となっております。また、慢性的な人材不足に加え、外注先の確保に苦慮している企業も見受けられる中、一部の企業では人材確保を主眼とした M&A を検討する動きもみられます。

全国は 2.4 ポイント小幅改善の▲10.7 となっており、神奈川県は 9.0 ポイント悪化の▲21.9 となっております。

来期の予想業況判断については、13.4 ポイント悪化の▲23.4 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	23.7	39.1	37.2	D.I. ▲13.5
当期実績	23.3	35.1	41.6	▲18.3
来期予想	25.0	41.7	33.3	▲8.3
前年同期比	33.3	28.4	38.3	▲5.0

請負価格

前期実績	-10.1	76.4	13.5	D.I. ▲3.4
当期実績	-10.0	76.7	13.3	▲3.3
来期予想	16.6	63.4	20.0	▲3.4

在庫

前期実績	6.7	90.0	3.3	D.I. 3.4
当期実績	5.0	90.0	5.0	0.0
来期予想	1.6	88.4	10.0	▲8.4

人手

前期実績	6.7	61.1	32.2	D.I. ▲25.5
当期実績	5.0	63.4	31.6	▲26.6
来期予想	3.3	66.7	30.0	▲26.7

収益

前期実績	20.3	45.9	33.8	D.I. ▲13.5
当期実績	16.6	43.4	40.0	▲23.4
来期予想	18.3	45.1	36.6	▲18.3
前年同期比	28.3	26.7	45.0	▲16.7

材料価格

前期実績	30.5	69.5	30.5	D.I. 30.5
当期実績	51.6	45.1	3.3	48.3
来期予想	38.3	60.1	1.6	36.7

資金繰り

前期実績	8.4	78.1	13.5	D.I. ▲5.1
当期実績	8.3	86.7	5.0	3.3
来期予想	6.6	81.8	11.6	▲5.0

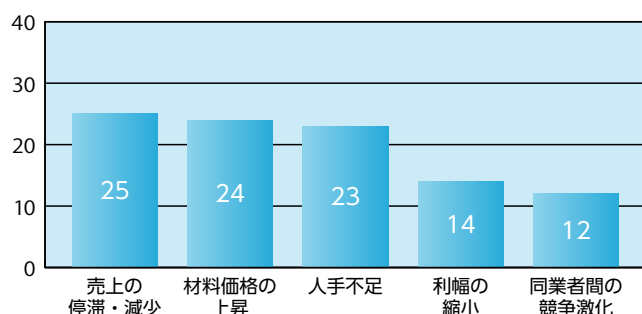
設備状況

前期実績	5.0	88.3	6.7	D.I. ▲1.7
当期実績	3.3	90.1	6.6	▲3.3
来期予想	3.3	91.7	5.0	▲1.7

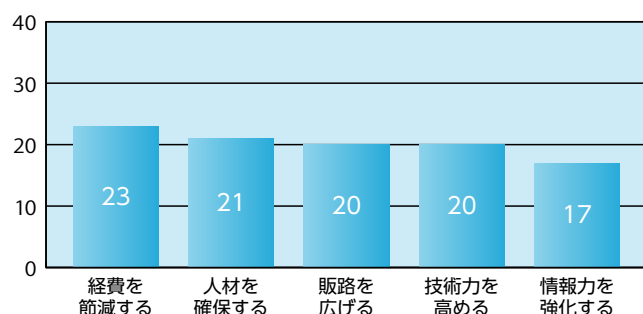
当期実績…2021年 4～6月期
来期予想…2021年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

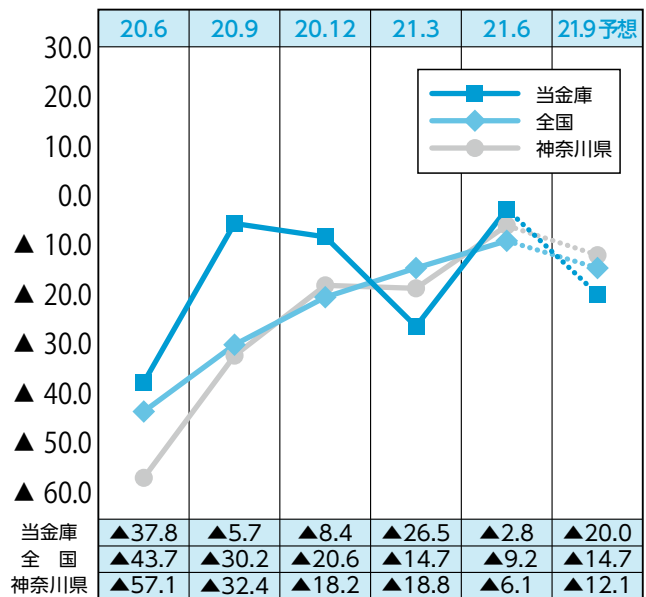
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 23.7 ポイント改善の▲2.8 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 41.2 ポイント大幅改善の 0.0、収益 D.I. は 23.7 ポイント改善の▲2.8 となっております。

秦野・伊勢原エリアをはじめ、湘南エリアにおいても商品の販売に動きがみられたことに加え、一部では、テレワークに伴う郊外物件の需要から、売上額・収益 D.I. は改善となっております。一方、約 6 割超の企業が物件の在庫不足を経営上の問題点とし、同業者間での仕入競合により仕入価格 D.I. は 14.1 ポイント上昇の 20.0 となっていることから、採算性を踏まえた商品仕入が課題となっております。

全国は 5.5 ポイント改善の▲9.2 となっており、神奈川県は 12.7 ポイント改善の▲6.1 となっております。

来期の予想業況判断については、17.2 ポイント悪化の▲20.0 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	2.9	53.0	44.1	D.I. ▲41.2
当期実績	28.5	43.0	28.5	0.0
来期予想	8.5	54.4	37.1	▲28.6
前年同期比	31.4	45.8	22.8	8.6

販売価格

前期実績	5.8	76.6	17.6	D.I. ▲11.8
当期実績	8.5	74.4	17.1	▲8.6
来期予想	14.2	68.7	17.1	▲2.9

在庫

前期実績	50.0	50.0	D.I. ▲50.0
当期実績	42.9	57.1	▲57.1
来期予想	45.8	54.2	▲54.2

人手

前期実績	2.9	82.4	14.7	D.I. ▲11.8
当期実績		85.8	14.2	▲14.2
来期予想		85.8	14.2	▲14.2

収益

前期実績	5.8	61.9	32.3	D.I. ▲26.5
当期実績	25.7	45.8	28.5	▲2.8
来期予想	8.5	60.1	31.4	▲22.9
前年同期比	28.5	48.7	22.8	5.7

仕入価格

前期実績	14.7	76.5	8.8	D.I. 5.9
当期実績	28.5	63.0	8.5	20.0
来期予想	25.7	68.6	5.7	20.0

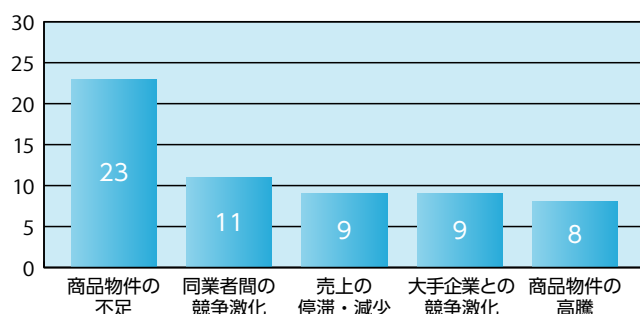
資金繰り

前期実績	5.8	85.4	8.8	D.I. ▲3.0
当期実績	5.7	88.6	5.7	0.0
来期予想	5.7	91.5	2.8	2.9

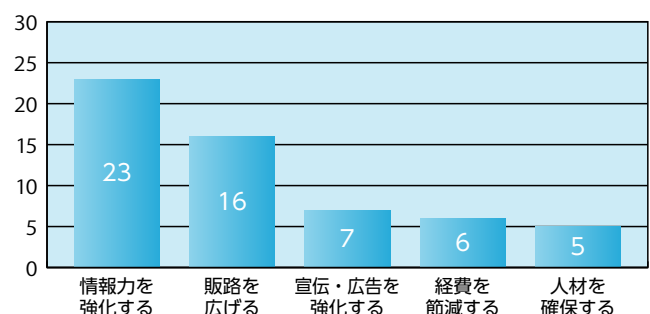
当期実績…2021 年 4～ 6 月期
来期予想…2021 年 7～ 9 月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客さま 340 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問 1. 貴社における今期（4～6月）の売上は、新型コロナウイルスの影響により例年と比較して、どの程度影響がありましたか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

- | | | | |
|--------------------------------------|------|--|-------|
| ☐ 90%以上の減少 | 0 社 | ☐ ほぼ変化なし（10%未満の増減） | 144 社 |
| ☐ 70%以上 90%未満の減少 | 2 社 | ☐ 10%以上 30%未満の増加 | 39 社 |
| ☐ 50%以上 70%未満の減少 | 15 社 | ☐ 30%以上の増加 | 5 社 |
| ☐ 30%以上 50%未満の減少 | 36 社 | | |
| ☐ 10%以上 30%未満の減少 | 77 社 | | |

問 2. 貴社は、現下の状況を受けて、事業継続についてどう感じていますか。1つ選んでお答えください。

- | 事業継続 | 貴社の業歴 | | |
|------------------------------------|-------|--------------------------------------|-------|
| ☐ 強く危機を感じている | 38 社 | ☐ 10 年未満 | 35 社 |
| ☐ やや危機を感じている | 144 社 | ☐ 10 年以上 30 年未満 | 92 社 |
| ☐ あまり危機を感じていない | 121 社 | ☐ 30 年以上 50 年未満 | 115 社 |
| ☐ 全く危機を感じていない | 9 社 | ☐ 50 年以上 100 年未満 | 68 社 |
| ☐ むしろ好機と感じている | 9 社 | ☐ 100 年以上 | 11 社 |

問 3. 貴社では、事業継続を困難化させる要因について、どのようなリスクを重視していますか。最大3つまで選んでお答えください。

- | | | | |
|---------------------------------|------|--|-------|
| ☐ 仕入や調達の困難化 | 89 社 | ☐ 販売先の倒産 | 36 社 |
| ☐ 従業員の参集不能 | 89 社 | ☐ 社内設備やシステムの故障 | 34 社 |
| ☐ 事業所の使用不能 | 56 社 | ☐ インフラ（電気・水道・通信等）の障害 | 28 社 |
| ☐ 物流の停止 | 55 社 | ☐ 社内の不正行為 | 5 社 |
| ☐ 経営者の離脱 | 37 社 | ☐ 特にリスクは意識していない | 105 社 |

問 4. 貴社では、災害に備え、どのような対策を取っていますか。最大3つまで選んでお答えください。

- | | | | |
|------------------------------------|-------|------------------------------------|------|
| ☐ 損害保険への加入 | 135 社 | ☐ 建物や設備の耐震化 | 29 社 |
| ☐ 技術や情報のバックアップ | 82 社 | ☐ 原材料等の代替調達先確保 | 24 社 |
| ☐ 社内の連絡体制の整備 | 69 社 | ☐ 自然災害を想定した訓練 | 17 社 |
| ☐ 必要な資金の確保 | 61 社 | ☐ その他 | 5 社 |
| ☐ 取引先との事前の協議 | 42 社 | ☐ 特に対策は取っていない | 77 社 |

問 5. 貴社では、事業継続にあたって、常日頃から頼りにしている相談先はありますか。最大3つまで選んでお答えください。

- | | | | |
|---------------------------------|-------|-----------------------------------|------|
| ☐ 金融機関 | 184 社 | ☐ 診断士等コンサルタント | 24 社 |
| ☐ 税理士・公認会計士 | 179 社 | ☐ 地方自治体 | 12 社 |
| ☐ 業界団体・同業他社 | 64 社 | ☐ 弁護士 | 8 社 |
| ☐ 商工会・商工会議所 | 56 社 | ☐ 警察署・消防署 | 1 社 |
| ☐ 取引先 | 56 社 | ☐ 特になし | 49 社 |

経営のポイント！『経営戦略①』

現在、経済産業省よりポストコロナ時代における事業展開に向けて、事業転換や業種転換を支援する「事業再構築補助金」等の支援策が講じられておりますが、事業計画策定における経営戦略には下記のような考え方があります。

☐ 集中戦略

☐ ① 関連多角化

☐ 多角化戦略

☐ ② 非関連多角化

集中戦略は文字通りターゲット市場を限定したうえで、経営資源を集中投入する戦略であり、中小企業にとって最適な戦略と言われております。一方、多角化戦略はシナジー効果を発揮するため、コア事業に関連した事業展開を図る「関連多角化」と複数の事業展開によるリスク軽減を図るため、既存事業と全く関係のない分野に進出する「非関連多角化」がありますが、当然に関連多角化の方が成功確率は高くなります。将来の事業計画策定に加え、事業再構築補助金の申請にあたって必要となる考え方となりますので、補助金申請を検討されているお客さまは、お近くの中栄信用金庫までお気軽にお問合せください。

